

第15回 定期演奏会 **和み** NAGOMI SYMPHONY ORCHESTRA **交響楽団** 指揮: 井村誠貴
 NAGOMI SYMPHONY ORCHESTRA

演奏曲目

ワーグナー
ジークフリート牧歌

記念すべき第15回演奏会は、ワーグナーの名器楽曲から始まります。ロマン派歌劇の頂点にいたともされる彼は、歌劇以外にも多数の名曲を遺しています。妻の誕生日とクリスマスプレゼントをかねて作ったとされる本曲。息子ジークフリートを産んでくれた感謝とともに、鳥の歌や日の出をイメージしたメロディーを奏でます。春うらかな京都で、美しい旋律に癒されませんか? ^ ^

マーラー
交響曲第5番

第15回定期演奏会のメインを飾るのは、マーラーの交響曲です。ウィーンフィルの指揮者としても活躍し、指揮者、作曲家の両面であった彼。そんな彼の「絶頂期」と言われる時代に作られた、マーラーの作品の中でも人気の極めて高い交響曲です。暗から明へ進む本曲はマーラーの中でも比較的明快で親しみやすいとされます。映画にも取り上げられる本曲。ぜひお楽しみください!

実に今回で6回目の共演となる井村先生と当団の新たな挑戦に、ぜひ、皆様お誘い合わせの上、ご来場いただけると幸いです!!

2017 5/27 SAT 17:30開場 18:30開演 **入場料 ¥1,000** (全席自由) 17:00より当日券販売 ※未就学児のご入場はご遠慮願います。

当日、託児室を設置いたします(6ヶ月以上の児童対象・定員あり・1人2,500円) ご希望、お問い合わせは2017年5月13日(土)までにnagomi_orch@infoseek.jpまで、メールにてご連絡下さい。



チケット
お問い合わせ

- 京都コンサートホールチケットカウンター TEL:075-711-3231/3090 (10:00~17:00)
- 和み交響楽団 事務局: nagomi_orch@infoseek.jp ホームページ: nagomiorch.web.fc2.com
- ローソンチケット 発売中 Lコード:55474
0570-084-005 (音声自動応答24時間) http://l-tike.com ローソン店頭Loppi
- JEUGIA 三条本店3F (APEX管楽器) TEL:075-254-3750 / 三条本店別館 (APEX弦楽器) TEL: 075-229-6560

※当団でのチケットの払い戻しは致しかねますので、予めご了承下さい

京都コンサートホール 大ホール

京都市営地下鉄烏丸線 北山駅下車 1番出口 南へ徒歩3分
 ●JRの場合: JR京都駅にて地下鉄烏丸線に乗り換え、国際会館行で北山駅下車。乗車時間約16分
 ●阪急の場合: 阪急烏丸駅にて地下鉄烏丸線四條駅に接続、国際会館行で北山駅下車。乗車時間約12分
 ●京阪の場合: 京阪丹波橋駅にて近鉄に乗り換え、竹田駅にて地下鉄烏丸線に乗り換え、国際会館行で北山駅下車。乗車時間約24分(丹波橋駅からの直通電車もあります) ●住所: 左京区下鴨半木町1-26 TEL: 075-711-2980
 駐車場のご案内 午前8時~午後11時 但し、休館日を除きます。30分毎 ¥250 約100台収容可能 どなた様でもご利用いただけます。

井村 誠貴

MASAKI IMURA



指揮者。1994年大阪音楽大学コントラバス科卒業。在学中よりオペラ指揮者として各地で研鑽を積み、これまでに菊池彦典氏をはじめ、多くの日本を代表する指揮者のもとでアシスタント・コンダクターとして多くの公演に携わり高い評価を得ている。オペラレパートリーも50演目を越え、主要作品の他にもオペレッタや邦人作品の初演にも力を注いでいる。中でも喜歌劇楽友協会におけるJ.シュトラウス「ウィーン気質」の邦人初演は注目を集め、高い評価を得ている。2001年イタリアに留学。現地ではAs. Li. Coの北イタリア・オペラ公演ツアーに同行し、副指揮者として高い評価を得た。2013年には年間オペラ公演回数が日本人第1位になるなどオペラ指揮者としての地位を確立。管弦楽では、京都フィルハーモニー室内合奏団を中心にコンサートを定期的に行う一方、大阪交響楽団、オペラハウス管弦楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団等を客演。また岐阜県交響楽団、大阪市民管弦楽団等との定期演奏会を客演指揮するなど、アマチュアオーケストラの分野においても貴重な存在となっている。さらにOsaka Shion Wind Orchestra、ナゴヤディレクターズバンド等の吹奏楽団との関係も深く、その分野でも注目を集めている。近年はミュージカルにも活動の場を広げ、1999年の「ラ・カージュ・オブ・フォル」

(市村正親)を皮切りに、「マイ・フェアレディ」(大地真央)、「レミゼラブル」(山口祐一郎)、「ペテン師と詐欺師」(鹿賀丈史)、「The Musical AIDA」(安欄けい)、「キャバレー」(藤原紀香)のロングラン公演を成功させライブCD及びDVDを発売。また、岩崎宏美や、南こうせつ、佐々木秀実、夏川りみといった実力派シンガーとの共演も多く、コンサートでの軽妙なトークも話題となっている。また、「浪速のモーツァルト・キダ・タロー」の作品の編曲も手掛け、キダ・タローとのコンサートも話題となっている。その活動の幅は指揮活動だけにとどまらず、オペラ演出、企画構成、さらには編曲者としての活動も著しくマルチな才能を発揮。2011年には、岐阜3000人の第九を成功に導くなど、多方面で大きな役割を担っている。2014年には、自身の企画により「ベートーヴェン振るマラソン」と題して、一日でベートーヴェンの全交響曲を一人で指揮。そのギネス級の活動には大きな話題となった。2011年東日本大震災を受け、毎年チャリティコンサートを開催。6回の演奏会で3790万円を超える義援金を届けた。クラシック音楽にとらわれない幅広いジャンル、年間200公演近くにも及ぶ実績と、繊細且つダイナミックな指揮は、多くのファンを魅了し続けている。指揮者、湯浅勇治氏をはじめ、松尾葉子、広上淳一、辻井清幸の各氏に師事。現在、オーケストラMFI指揮者。春日井市第九演奏会音楽監督、関西音楽人のちから「集」代表。

和み交響楽団

NAGOMI SYMPHONY ORCHESTRA



当団は、「学生時代に各方面の大学オーケストラで喜怒哀楽を共にした仲間達と、もう一度音楽をやりたい!」という熱意から、2007年3月に青春時代の話を咲かせる中で誕生した、京都を本拠地とする楽団です。「和み交響楽団」という命名の由来は、「演奏会に足を運んで頂いたお客様に和んでいただきたい」、「和(=ハーモニー)を大切にしたい音楽をしたい」、そして「一緒にいると和める仲間でありたい」という団員全員の想いが込められています。当初は京阪神の大学の交響楽団、弦楽団、吹奏楽団等で活躍したメンバーを中心に構成されていました。しかし現在はその枠を越えて、京阪神どころか中には関東圏からも「和みの音楽をやりたい!」というメンバーが集まっています。団名に込めた思いの通り、私達の演奏で皆様に「和み」を感じて頂けるよう、さらなる熱意をもって約50名の団員で練習に取り組んでおります。